

# やましん

## 地域密着型金融の取組み状況

【平成22年4月～23年3月】



Nice days, Together!

大和信用金庫

# はじめに



## 「やましん地域密着型金融推進計画」について

当金庫では、平成15年4月からの「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」における各種取組みを始めとして、中小企業金融の円滑化・事業再生・経営力の強化・地域利用者の利便性向上等について、常日頃から取組みを進めています。

地域密着型金融の取組みにつきましては、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」の中で、特に下記の3つの大項目が求められています。

### 地域密着型金融推進計画の3つの大項目

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

また、平成23年5月の監督指針改正において、中小企業に対するコンサルティング機能の発揮等が求められていますが、当金庫ではこれに先立ち課題解決型金融の為の専担部署として、平成23年4月に「ビジネスサポート部」を新たに設置しています。

# 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

## (1) 経営改善支援

当金庫では、特に経営改善支援に力を注いでおり、平成15年7月に「財務支援室」を設置し、取引先企業の経営改善支援業務を行っています。

平成23年4月には、新たに「ビジネスサポート部」を設置し、財務支援に加えて、幅広くお客様の経営課題の解決をサポートする体制を構築しています。

### 【目的】

経営課題を抱えている、或いは新たな成長領域を目指している取引先企業に対して、経営改善計画策定支援ほか経営改善実行のための助言・進捗管理、公的機関との連携・ビジネスマッチング等により、取引先企業の「業績向上」「経営の安定化」「事業拡大」を図る。

### 【取組内容】

- ・「ビジネスサポート部」と営業店との協議により、経営改善支援対象先を選定
- ・支援対象先はその内容により、「ビジネスサポート部と営業店の共同支援先」と「営業店単独支援先」に区分し、主に「経営改善計画書」の策定に主眼を置いた活動を行う。
- ・「経営改善計画書」策定完了先については、定期的に進捗をフォローし（モニタリングの実施）、改善度合いを検証
- ・営業店に対しては支援活動に対する積極的な取組みを促し、営業店担当者との帯同訪問を行っている他、店舗表彰項目に採り入れることで取組姿勢を評価
- ・活動に際しては、中小企業再生支援協議会等、公的支援機関の機能も活用
- ・取組みの実績について、ディスクロージャー誌等での公表と、公表内容の拡充
- ・「課題解決型金融」に対応できる人材育成を目的に、「中小企業診断士養成講座」や「融資マン養成講座」の独自開催と、外部研修への継続派遣
- ・貸出条件変更先に対する経営改善支援



# 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

## 【成果】

- 過去8年間(15～22年度)における「経営改善計画書」策定件数は54軒、債務者区分ランクアップ実績は25軒となっています。
- 数字の実績以上に経営者の皆様方の意識改革のお役に立てた点が成果として大きいと認識しています。
- 不良債権処理コストの低減や債権健全化が図れ、支援対象先との信頼関係構築にも繋がっています。
- 各種の人材育成研修により、職員の経営改善支援業務に対する取組み意識が醸成されています。

## 【課題】

- ① 「経営改善計画書」策定期間の短縮化
- ② 「経営改善計画書」の策定以降の、モニタリング活動の充実
- ③ 「中小企業金融円滑化法」への対応も絡めた支援効果の高い新規支援対象先の選定
- ④ 「ビジネスサポート部」財務支援課における体制の拡充・強化
- ⑤ 多様な支援メニューによる課題解決型金融への取組み

## 経営改善支援等の取組実績

【22年4月～23年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支 援取組み先 数 α	(単位:先数)			(単位:%)			
			αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 β	αのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 γ	αのうち再生 計画を策定し た先数 δ	経営改善支 援取組み率 α/A	ランクアップ 率 β/α	再生計画 策定率 δ/α	
正常先 ①	2,030	15		14	13	0.7%		86.7%	
要 注 意 先	うちその他 要注意先 ②	616	38	6	32	36	6.2%	15.8%	94.7%
	うち 要管理先 ③	9	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻懸念先 ④	100	15	1	13	14	15.0%	6.7%	93.3%	
実質破綻先 ⑤	36	2	0	2	2	5.6%	0.0%	100.0%	
破綻先 ⑥	12	0	0	0	0	0.0%	—	—	
小計 (②～⑥の計)	773	55	7	47	52	7.1%	12.7%	94.5%	
合計	2,803	70	7	61	65	2.5%	10.0%	92.9%	

(注)・期初債務者数及び債務者区分は22年4月初時点で整理

- ・ 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業数(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含めていません。
- ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めていません。
- ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めています。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。

# 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 (その他の項目)

## (2) 創業・新事業支援について

平成22年度中における創業・新事業支援関連の融資実績

**6件 25百万円**

内訳：保証協会保証付新事業創出関連保証	2件	5百万円
保証協会保証付創業関連保証資金	4件	20百万円



## (3) 事業再生について

中小企業再生支援協議会との連携により、案件発生時には協力して再生支援を実施することとしています。

## (4) 事業承継について

事業承継につきましては、日常の営業活動において常に情報収集に努めながら、相談・アドバイスをを行っています。

今後、事業承継の問題はますます顕在化するものと思われることから、奈良県商工会連合会・奈良県中小企業団体中央会、さらには近畿経済産業局などとも連携し、特に平成20年5月から進められている「地域力連携拠点事業」のスキームを活用し、事業承継には特に意識的に取り組んでいます。

※「地域力連携拠点事業」は、平成23年度より「中小企業支援ネットワーク強化事業」に引き継がれています。

## 2. 事業価値を見極める融資を始め、中小企業に適した資金供給手法の徹底

### ■ 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

平成15年度からのリレーションシップバンキング機能強化計画のアクションプログラムにおいて求められていた、担保・保証に過度に依存しない審査態勢及び取組姿勢の定着のために、新たな商品開発を行い「やましんビジネスローン『社長！どうですか』」として発売・推進したほか、顧客利便性に資するため、各種融資商品の開発・推進を行っています。

#### 【やましんビジネスローン「社長！どうですか」の実績】

平成16年12月より取扱を開始し、平成22年度中は5件の11百万円の新規取組み実績であり、23年3月末時点での取扱残高は、140件、166百万円となっています。

#### 【格付活用融資（財務諸表の精度が相対的に高い法人取引先への事業性融資商品）】

平成19年度より取扱を開始し、22年度では22件の709百万円の取組み実績となりました。  
23年3月末での累計残高は、64件の1,140百万円となっています。

#### 【格付拡大融資（格付活用融資の対象者を個人事業者も可能とした商品）】

新たに平成22年度から取扱いを開始した商品で、平成22年度は10件、113百万円の実績がありました。

### ■ 人材育成

平成21年度より、【融資マン養成講座】及び【中小企業診断士養成講座】の開講を行い、「目利き力」向上を目指した人材育成と、「課題解決型金融」の推進を行っています。

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

— 地域の活性化につながる多様なサービスの提供として —

「大和川水質改善応援定期預金『大和川定期預金』の取扱い及び大和川の水質改善への取組み」

当金庫では、平成16年12月に「CSR検討委員会」を設置し、CSR(企業の社会的責任)をいかに実践していくかを議論し、活動を進めてきました。

・CSR活動のテーマ

『Next Generation ～未来へ～』次世代のために、私たちは歴史と環境を大切にします。

古都・奈良を営業地区とする当金庫が「持続的発展が可能な地域社会づくり」に貢献するという社会的責任を果たすために、地域の歴史と環境と子供たちを大切にするという思いを活動の柱に据えました。

・これまでの活動内容 ⇒ クールビズ・ウォームビズ、ハイブリッドカーの導入、低公害車購入への金利優遇ローン、少子化対策・子育て支援のための商品「ANGEL PLUS ONE」、「こども110番」活動、護身術セミナーの開催、環境展への出展、小・中学生への金融教育、AEDの全店設置、「認知症サポーター養成講座」の受講、エコ検定の受検奨励、奈良県ストップ温暖化推進委員への就任、マラソン大会への協賛、清掃活動、太陽光発電設備への奈良県無利子融資制度の取扱い、「エコ住宅ローン」の取扱い、不用陶器の回収、がん検診受診率向上に向けた啓発活動など。

当金庫のCSRテーマに則り、開発されたのが「大和川定期預金」です。

## ■ 「大和川定期預金」商品内容

- ・預入時の店頭表示金利に、+0.1%金利上乗せ
- ・さらに、大和川のBOD値が基準値より改善した場合、+0.1%金利上乗せを行い、最大で+0.2%の金利上乗せとなります。
- ・粗品は「水切りネット」及び「アクリルタワシ」  
「水切りネットは」地元企業の製品であり、「2006年 奈良・グッドデザイン～人にやさしいデザイン賞」受賞商品を採用  
「アクリルタワシ」は、洗剤を使わずに食器が洗えるタワシです。  
地元婦人会の方々の手づくりです。
- ・第2回大和川定期預金より「大和川基金」を組成  
⇒ 募集預金残高の0.01%を金庫から寄付 + 金庫役職員の自由意志による寄付

## ■ 定期預金の推進に際して

- ・趣旨を説明のうえ、各家庭での生活排水削減を呼び掛けました。  
①食事は食べる分量だけ作り、残らないようにする。②食器やフライパンなどの汚れは拭き取ってから洗う。③食べ残しや残りクズは流さず三角コーナーかゴミ箱へ入れる。等

## ■ 平成22年の大和川水質改善の結果

- ・平成22年のBOD値は、2.8mg/ℓと観測史上最もきれいな水質まで改善しました。

最大+0.2%  
金利上乗せ

「大和川定期預金」は大和川の水质改善を願い、水質の改善具合によって金利を上乗せする定期預金です。

第6回 やましん 大和川水質改善応援定期預金

大和川定期預金

募集期間：平成23年7月1日(金)～平成23年9月30日(金)

+0.1% 金利上乗せ +0.1% 金利上乗せ

大和川水質改善基金

## 大和川定期預金の反響と成果

### ■ マスコミでの紹介

- ・発売当初から、新聞各紙をはじめ、テレビやラジオ等のマスメディアで紹介をいただきました。

### ■ 環境各賞の受賞について

- ・平成19年2月 フジサンケイグループ主催「第16回地球環境大賞<フジサンケイビジネスアイ賞>」
- ・平成19年3月 三重県主催「第5回日本環境経営大賞<環境プロジェクト賞>」



- ・平成19年6月 関西広域機構主催「平成18年度関西エコオフィス奨励賞」
- ・平成19年12月 日本フィランソロピー協会主催「第5回企業フィランソロピー大賞<地域環境賞>」
- ・平成20年4月 (社)日本河川協会主催 第10回日本水大賞<奨励賞>
- ・平成20年5月 第11回 信用金庫社会貢献賞<特別賞>
- ・平成20年6月 平成20年度 奈良県環境保全功労賞
- ・平成21年2月 第1回 経営者環境力大賞を柳田理事長が受賞
- ・平成22年6月 第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト 審査委員特別賞

## その他の活動について

### ■ 「大和川基金」による大和川再生に向けた取組み

- ・大和川の再生・水環境の改善に向けた取組みに対して、基金から資金を拠出
- ・奈良NPOセンターとの連携により、子どもたちを中心に大和川の源流体験ツアーを実施  
その他、大和川水質改善啓発ポスターコンクール、大和川再生フォーラムを開催
- ・今後も、大和川サミットのような啓発活動を通じて、大和川の再生を目指します。

### ■ 大和川生活排水対策社会実験への協力

- ・社会実験期間を定め、その前後での水質の改善度を確認。
- ・各家庭での生活排水を抑えていただくよう呼びかけます。

### ■ 大和川クリーンキャンペーンへの参加

- ・地域の清掃活動に参加し、多くの職員が汗を流しました。



### ■ 大和川に係る各ネットワークへの参加

- ・行政と民間、奈良県(上流)と大阪府(下流)、企業と市民(NPO)、大学など、各分野間の連携を図るべく、市民が中心となって構築された「大和川市民ネットワーク」、及び奈良県が組成した「大和川清流復活ネットワーク」へ、共に当金庫が参画しています。